



「みなと公園」はかつての児童公園を、城下町であり、こんびら参詣の上陸港でもあった丸亀市の歴史を生かし、豊かな水際空間の創造と港湾地域の活性化を目的に、歴史と文化が融合した海の玄関をコンセプトに再整備をしたものである。

新しい公園は、港がよく見えるように敷地を嵩上げするとともに、こんびら街道の起点をイメージできるように安藤広重の丸亀湊の絵やこんびら船形の遊具、太鼓台を模した木造瓦葺きの展望休憩所などを設けている。また、仕上げ材は天然の石材や木材などを主体とし、できるだけ加工を行わない方針をとった。

照明も周囲が市街地であるため、トーンを下げた間接照明とし、こんびら灯笼の光や新堀港に架かる京極大橋のイルミネーションが目立つように配慮している。

DATA・BOARD 84

- ① 香川県丸亀市福島町218番地
- ② 面積：4,159㎡(多目的運動広場1,600㎡)
- ③ 展望休憩所、旧こんびら船形遊具、灯笼、街道歴史案内板、照明装置ほか
- ④ 木材、瓦、セラミックタイル、石材、植栽ほか
- ⑤ 盆踊り、運動会など

